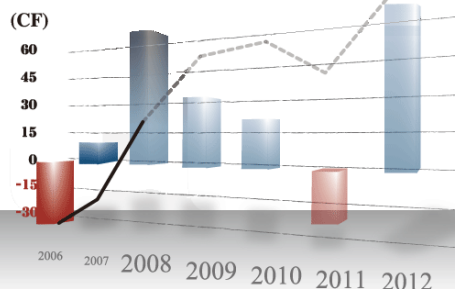


# NewsLetter



発行：株式会社MAP経営 〒164-0012  
東京都中野区本町1-32-2/A-E-21F  
TEL:03-53651500 FAX:03-53651530  
<http://www.mapka.jp>  
広報担当：吉川、大石 E-mail: koho@mapka.jp

vol.1 発行日：2011年3月吉日  
掲載期間：2010年8月～2010年12月

## ～ NEWS ～

2010年12月、金融庁は、中小企業金融円滑化法の期限を1年間延長するとともに、同法に基づく開示・報告に係る事務負担の軽減や金融機関のコンサルティング機能がこれまで以上に発揮されるよう促すため、検査・監督において対応を行う旨を決定、公表しました。

## 中小企業の経営改善計画作成システム 地域金融機関向け新商品販売開始

MAP経営は新システム『MAPクイックリレーション』を2010年9月より販売を開始しました。中小企業金融円滑化法施行後、事務量が増加している地方銀行や信用金庫・信用組合など全国の「地域金融機関」に向け、地域金融機関の取引先である中小企業の経営改善計画を迅速かつ簡易に作成・提供するシステムとして開発されました。

『MAPクイックリレーション』は、地域金融の営業店での導入を想定。本社に導入されているMAP経営の主力システム『MAP経営シミュレーションⅡ』と連携させます。

『MAPクイックリレーション』では決算書や試算表、借入状況などのデータを入力することで、経営改善点が抽出しやすい記入シートが出力されます。経営者が金融機関側と面談しながら経営改善策を作成し、これら情報をシステムに入力するだけで、5年先までの「実抜計画書」が作成できます。加えて他行への融資借換や新規融資の提案を、キャッシュフローを明確化した「提案書」として作成もできます。

【2010年8月23日プレスリリースより】  
<http://www.mapka.jp/img/news/news100823.pdf>

『MAPクイックリレーション』は、2011年2月末現在、地域金融機関4行庫に導入され、数行庫で導入が検討されています。中小企業金融円滑化法の延長に伴い金融機関に求められている「中小企業への経営コンサルティング機能の発揮」を実践するために『MAPクイックリレーション』は、活用されています。

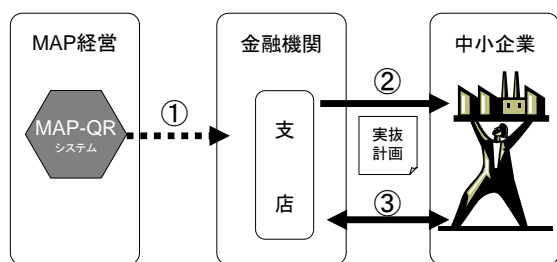
## 『会計王』ソリマチと業務提携 「予実管理」に会計データと連動

ソリマチ株式会社(本社：東京都品川区 代表取締役社長 反町秀樹 以下ソリマチ)と業務提携をし、両社の業務パッケージソフトのデータを相互に連携する仕組みを実現しました。

MAP経営の経営計画策定システム『MAP経営シミュレーションⅡ』では、財務・会計ソフトのデータを読み込むことで予算と実績を比較し次の行動に生かす「予実管理」が可能。業務提携により、ソリマチの財務・会計ソフト『会計王』のデータをMAPシステムに連携する仕組みを実現しました。

【2010年12月24日プレスリリースより】  
[http://www.mapka.jp/img/news/prs\\_111224.pdf](http://www.mapka.jp/img/news/prs_111224.pdf)

### ■業務フロー



- ①QRシステムの提供により金融機関の業務効率を向上
- ②金融円滑化法の適用による融資条件の変更
- ③②から1年以内に中小企業経営者と金融機関が実抜計画を共同で作成

## 『あんしん経営をサポートする会』 経営計画で全国の中小企業支援



中小企業の経営体質強化を支援する税理士・公認会計士の全国組織『あんしん経営をサポートする会』（事務局：東京都中野区 会長 岩永経世 以下 同会 <http://www.ansin.jp>）は、「経営計画」立案をはじめとする中小企業向け経営支援の全国展開を決定しました。中小企業を取り巻く経営環境が悪化する中、経営者は中長期的な収益を確保し、財務基盤強化を図ることが課題となっています。こうした中小企業の経営を支援すべく、12月の高崎を皮切りに経営計画立案セミナーを全国17都市で開催。2010年の支援企業数は576社となりました。

同会が主催し中小企業の経営者や後継者を対象とする「中期5カ年計画立案セミナー（セミナータイトル『将軍の日』）」では、経営者自らが中期5カ年の経営計画を1日で作成。参加企業ごとに同会に所属する税理士など専門家がサポートします。加えて、「単年度計画」や「達成管理」のための支援も行います。

「中期5カ年計画立案セミナー」は、経営計画を経営者自らが作成するという点が特徴。MAP経営が開発した専用ソフトを利用し、1日で本格的な経営計画書を作成します。専用ソフトは、複数のシミュレーションを比較検討することもでき、経営者の意思決定をサポートします。同会では、中期5カ年計画立案後の経営サイクル確立が重要と考え、単年度計画立案や達成管理のサポートも行い、中小企業の継続的な経営体質強化を支えています。

【2010年12月22日プレスリリースより】  
<http://www.mapka.jp/img/news/news110107.pdf>

『あんしん経営をサポートする会』について  
同会は任意団体ですが、入会はMAP経営の開発した専用ソフト『MAP経営シミュレーションⅡ』の導入会計事務所が対象となり、2011年1月現在の会員数は850事務所となっています。

## 『MAPサロン』全国12地域で開催

あんしん経営をサポートする会は、第60回地域MAPサロンを全国12会場で開催しました。MAPサロンは、あんしん経営をサポートする会の会員による情報交換・勉強会を目的とし、毎年3～4回開催しています。第60回は、「地域MAPサロン」として、全国12会場（熊本、福岡、高崎、仙台、札幌、名古屋、岡山、広島、東京、静岡、大阪、金沢）で開催しました。全国12会場での開催は、遠方の会員が参加しやすいように今後も開催していきます。「地域MAPサロン」は中期5カ年計画立案セミナーでのサポートを行う、税理士などが勉強会を行い、中小企業支援に役立てております。

【2010年10月8日プレスリリースより】  
[http://www.mapka.jp/img/news/prs\\_101008.pdf](http://www.mapka.jp/img/news/prs_101008.pdf)

## 『未来をカタチにする「経営計画」』 事業計画なくして存続と発展なし

MAP経営代表取締役会長 高山範雄は、『未来をカタチにする「経営計画」』を、2010年11月19日（金）に明日香出版社より出版しました。

本書はMAP経営自身が苦境から立ち直った経験を踏まえ、「経営の基本を忠実に実践すれば、存続と発展の可能性は十分ある」「一人でも多くの経営者が目標達成できる経営体質を構築していただきたい」との思いから書き下ろしました。

高山の考える経営の基本要素は、①真のリーダーである「経営者」がいること、②「経営目的」が明確であること、③収益を上げる「事業領域」があること、④組織経営に必要な「マネジメント」があること。本書ではこれらの考えをベースに、第一ステップ「方向性を示す」、第二ステップ「方法論を具体化」、第三ステップ「達成管理を徹底」などについて具体的な進め方を紹介しています。



【2010年11月19日プレスリリースより】  
<http://www.mapka.jp/img/news/pub101115.pdf>

## 編集後記

弊社では、2010年8月より広報を開始しました。今回2010年12月までのプレスリリースの内容をニュースレターとしてまとめました。今後不定期ですが、MAP経営の取り組みをお知らせしてまいります。ご一読お願い致します。